



2026年4月14日

各位

会社名 株式会社 パソナグループ
代表者名 代表取締役会長 CEO 若本 博隆
(コード番号 2168 東証プライム)
問合せ先 副社長執行役員 CFO 仲瀬 裕子
(TEL. 03-6734-0200)

2026年5月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年4月14日開催の取締役会において、2025年7月15日に公表した2026年5月期通期連結業績予想を修正いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

記

1. 2026年5月期通期連結業績予想の修正 (2025年6月1日～2026年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2025年7月15日公表)	330,000	2,500	2,800	500	12.81
今回予想値 (B)	310,000	500	1,800	△1,800	△47.72
増減額 (B-A)	△20,000	△2,000	△1,000	△2,300	△60.53
増減率 (%)	△6.1	△80.0	△35.7	—	
(ご参考) 前期実績 (2025年5月期)	309,240	△1,237	△460	△8,658	△221.80

(注) セグメント別の業績予想については同日公表の「決算説明補足資料」にて開示しております。

2. 業績予想修正の理由

2026年5月期通期連結業績予想につきましては、キャリアソリューションセグメントの再就職支援事業は期初計画を上回って推移している一方で、人材紹介事業は期初に実施した社内システムの刷新により上期に一時的に営業効率が低下したことに加え、第3四半期連結会計期間には人員の入れ替えにより生産性が低下し、成約数は期初計画を下回る見込みとなりました。また、地方創生・観光ソリューションは、兵庫県淡路島のニジゲンノモリを中心に来場者数が増加し、売上高及び営業利益ともに前年を上回り、足もとでも3月に開始した期間限定イベントは順調なスタートを切っております。しかしながら、新たに手掛けたゲーム事業のスタートが計画よりも遅れたことに加え、新規施設の立ち上がりもスローになったことなどから、期初計画の達成が難しい状況となりました。こうした状況を踏まえて、各セグメントの業績予想を見直した結果、通期連結売上高及び営業利益、経常利益は期初計画に対して未達となる見込みとなりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、上記のほか、当第3四半期までに万博出展関連費用等の特別損失が追加で発生したことなどから、期初計画に対して未達となる見通しとなりました。

これらの結果、2025年7月15日に公表した2026年5月期通期連結業績予想を修正いたします。

(注) 上記記載の業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上